

育てよう

鏡野のよい子シリーズ



「やる気」は伸ばすもの

四月六日、新しい学年に進級した子どもたちは、やる気まんまんの顔で学校にやってきました。

特に、六年生は、「学校のリーダーとしてがんばるぞ。」という気持ちがあみながっていました。「安全に並んで登校する。」「あいさつをする。」「勉強をがんばる。」という目標を持ち、下級生のお手本になりたいと思っていました。

しかし、子どものことですから、途中でしんどくなったり易きに流れてしまいそうになったりすることがあるかもしれません。そういう時には、周りの大人が「やる気」が再びできるように応援してあげることが必要だと思えます。

どのように声をかけたらよいでしょうか。「全然並んでいないよ。きちんとしなさい。」「あいさつの声が小さい。」「この作文はなんだ。書き直しなさい。」「こういう言葉かけは、文字してみるとよくないことがわかります。」

「小さい子たちを連れてくるのは

大変でしょう。がんばってるね。」

「今日は大きな声であいさつしてくれたからうれしいよ。」「がんばって作文を書いたんだね。ここをこう書けば、もっとよくなるよ。」このような言葉かけはどうでしょう。もちろん、ほめるだけでは期待した効果は出るとは限りません。注意して直させることが必要なこともあるでしょう。

しかし、「私は認められている。期待されているんだ。」と感じた子どもは、再び「やる気」をおこすでしょう。

「やる気」は、人から押しつけられるものではなく、その人の内面から出てくるものだと思います。元々持っている「やる気」をいかになくさないようにするか、また、なくしかけた時にはどうすれば再び持つことができるようになるかを考え、子どもたちと接していきたいと思えます。

鏡野町生徒指導推進連絡協議会

香々美小学校 龍門 慎治

のびのびひろば



小学3・4年生と散歩にいきました

上齋原学園には、幼稚園・小学校・中学校が同じ敷地内にあります。

年に数回、交流会もしています。今月は、小学3・4年生と学園周辺の散策に出かけました。

数年前まで幼稚園生だった児童が幼稚園の子の面倒を見たり、昆虫採集・川の探検を進んでいたりしている姿を見ていると、たくましく成長した姿が微笑ましく映りました。園児も優しいお兄ちゃん・お姉ちゃんに連れられて、とても楽しそうでした。カエルのたまごやちようちよ・さわがにも見つけました。



さわがに



かえるのたまご



さわがにいるかな?



(上齋原幼稚園)